

令和２年度 武蔵野市独居高齢者実態調査報告書 概要版

１．目的

- 市内独居高齢者の数や実態を把握し、また緊急連絡先の収集をする。
- 高齢者福祉計画・第８期介護保険事業計画策定などの基礎資料とする。
- 過去の調査では、民生委員が自宅を訪問することを通じて、日常生活での困りごとや生活の状況などを把握するとともに、３年に一度の改選後に民生委員が対象者を訪問することで、担当地域を知るきっかけの場とすることを目的としていた。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、民生委員による訪問調査を中止し、調査方法を郵送調査に変更して実施したが、本人同意を得た「緊急連絡先」については民生委員に提供し、緊急時の対応に活用する。

２．調査概要

(１)対象者

- 令和元年１２月１日現在、市内在住の６５歳以上の単身世帯 １０,７４５人（住民基本台帳上）

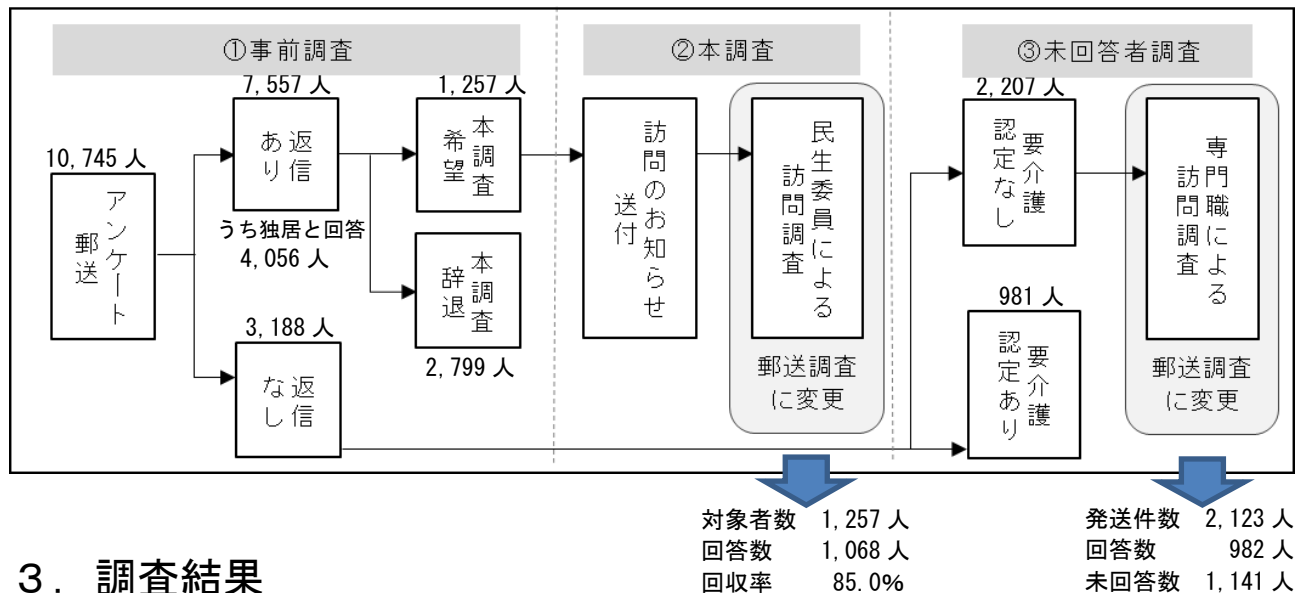
(２)対象除外者

- 特別養護老人ホーム等の施設入所者、シルバーピア入居者等

(３)調査の概要

	①事前調査	②本調査	③未回答者調査
方 法	郵送によるアンケート調査	郵送によるアンケート調査 ※民生委員による訪問調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため変更	郵送によるアンケート調査 ※専門職（介護支援専門員等）による訪問調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため変更
調 査 項 目	ひとり暮らしであるか否か 本調査に協力するため民生委員の訪問を希望するか 緊急連絡先の提供依頼	外に出る機会はあるか 心配ごとやその相談相手について 市の施策についての認知度 など	ひとり暮らしであるか否か 緊急連絡先の提供依頼
調 査 期 間	令和元年１２月１１日送付 令和元年１２月２７日締切	令和２年４月２０日送付 令和２年５月２２日締切	令和２年６月１日送付 令和２年６月１９日締切
調査対象者数	１０,７４５人 住民基本台帳上の数	１,２５７人 事前調査で、ひとり暮らしであり、訪問調査に協力すると回答した数	２,２０７人 事前調査で返信がなく、要介護（要支援）認定を受けていない数

(4) 調査の流れ



3. 調査結果

(1) 事前調査

①事前調査による対象者内訳

返 信 あり	独居	親族と同居	施設入所・入院中等	その他	計
	4, 056 人 (37. 7%)	1, 838 人 (17. 1%)	1, 351 人 (12. 6%)	312 人 (2. 9%)	7, 557 人 (70. 3%)
返信なし					3, 188 人 (29. 7%)
計					10, 745 人 (100%)

※その他は、郵便未着、調査期間中死亡・転出等

(事前調査終了時)

②緊急連絡先の情報提供について

- 事前調査でひとり暮らしと回答した方に、市へ緊急連絡先の情報提供をお願いした。

		提供あり		提供なし		合計
独居	調査協力	1,112人	88.5%	145人	11.5%	1,257人
	調査辞退	1,952人	69.7%	847人	30.3%	2,799人
合計人数		3,064人	75.5%	992人	24.5%	4,056人

(2) 本調査(郵送調査)

①調査結果

郵送調査対象者(独居-調査協力)	調査票回収数	回収率
1,257人	1,068件	85.0%

②自由意見、市への要望等について

自由意見欄で必要と判断したものについて、下記の対応を行った。

記載内容	対応	件数
民生委員の名前・連絡先を知りたい	民生委員に確認のうえ、対象者へ情報提供	2
民生委員にお会いしたかった	民生委員へ情報提供	17
相談先等を知りたい	相談窓口(在宅介護・地域包括支援センター)の案内を郵送	79
高齢者福祉以外の施策に関する質問・意見	主管する課へ情報提供	10
計		108

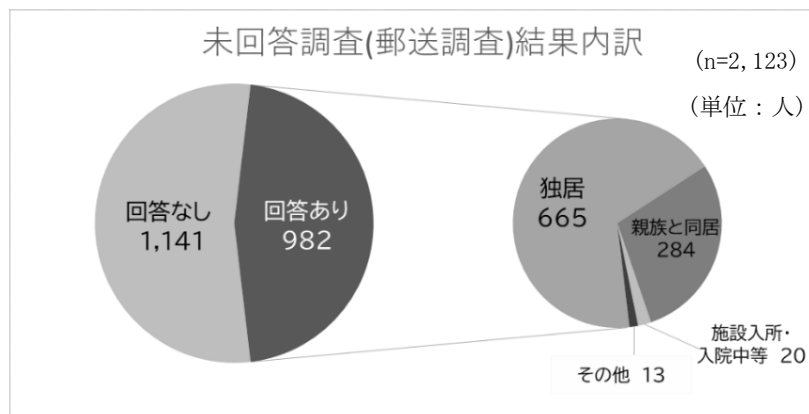
(3) 未回答者調査(郵送調査)

① 調査結果

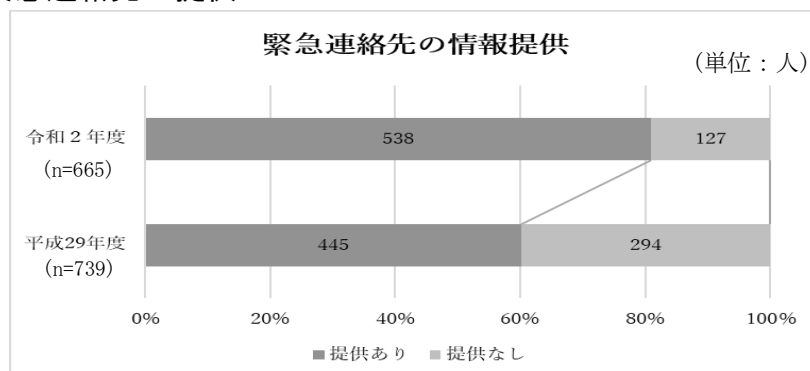
対象者数	2,207 人	未回答者 3,188 人から要介護認定者を除いた数
発送件数	2,123 人	対象者数から死亡・転出者等を除いた数
回答数	982 人	
未回答者数	1,141 人	

※未回答者 1,141 人については、専門職（介護支援専門員等）による訪問調査を年内に実施予定。

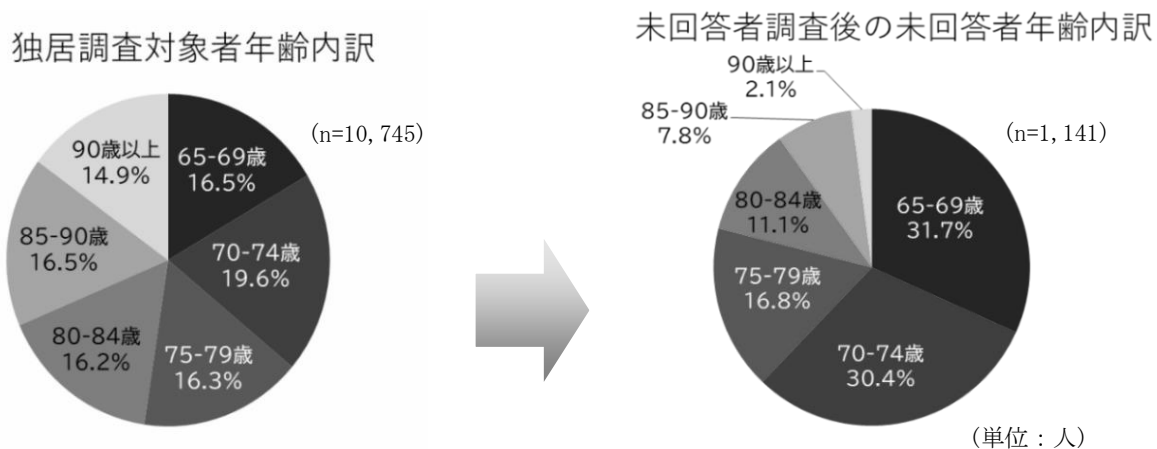
② 未回答者調査(郵送調査)による対象者内訳



③ 緊急連絡先の提供



④ 未回答者調査(郵送調査)後の未回答者数・年齢内訳



内 訳	年 齢						合 計
	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-90歳	90歳-	
独居調査対象者	1,772	2,108	1,747	1,742	1,776	1,600	10,745
未回答者調査後、未回答者	362	347	192	127	89	24	1,141

4. 本調査の集計及び分析

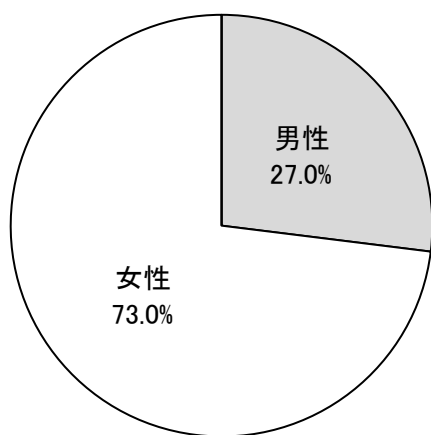
(1) 性別と年齢(各単数回答)

結果の
ポイント

性別は、「男性」約3割(27.0%)、「女性」約7割(73.0%)である。
平均年齢は 81.1 歳で、調査を重ねるごとに高くなっている。

【性 別】

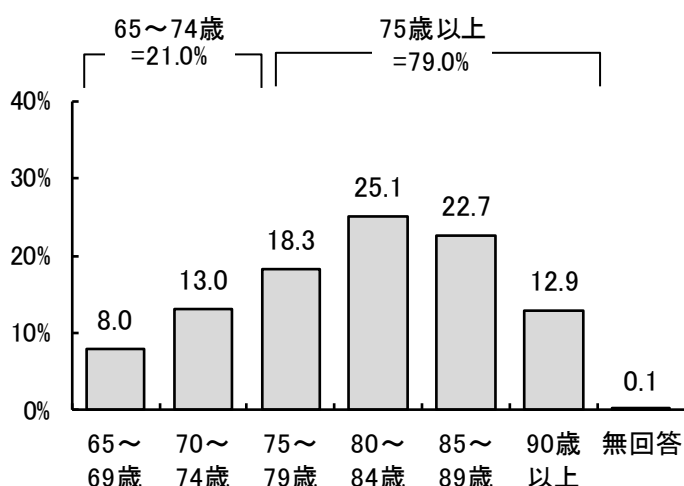
(n=1,068)



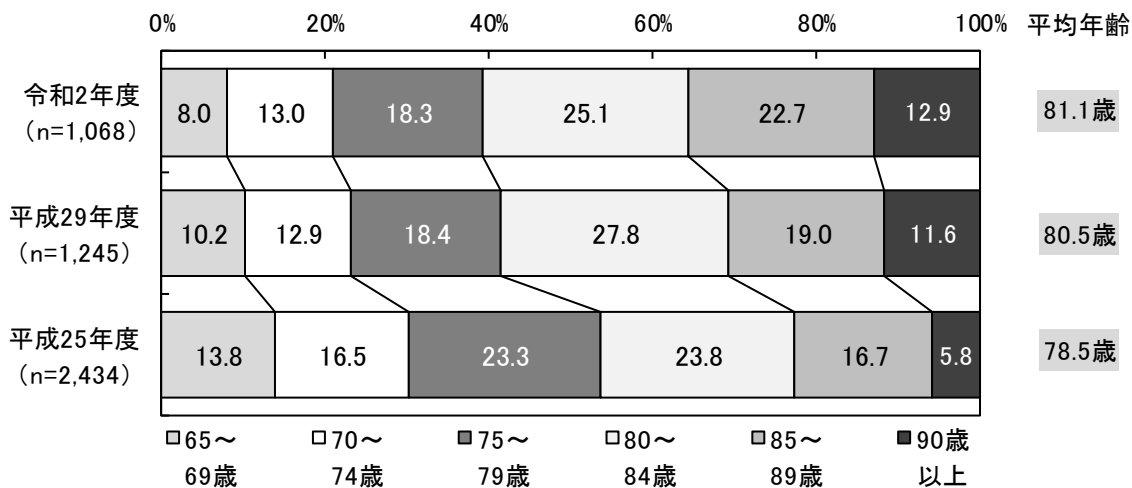
【年 齢】

(n=1,068)

平均年齢: 81.1歳
最高年齢: 99歳



【平成 25 年度・29 年度調査との比較】



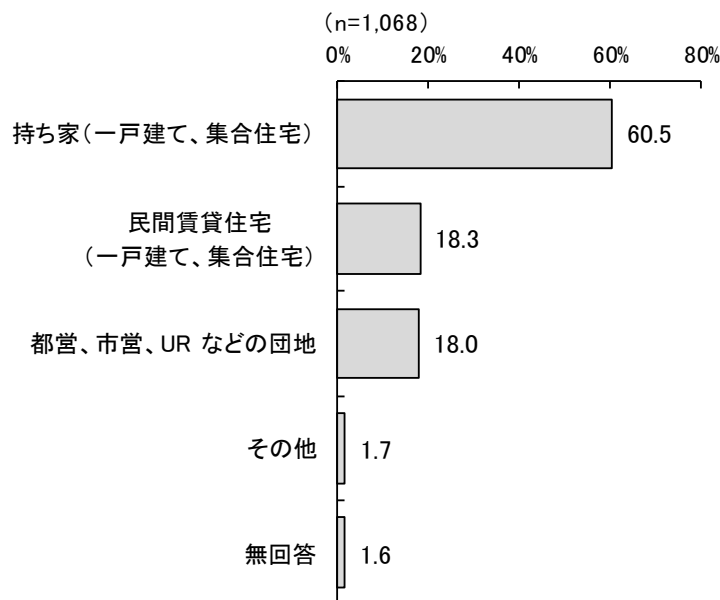
※無回答は掲載を省略している

本調査回答者の性別は、「男性」が 27.0%、「女性」が 73.0%となっている。年齢は、「80～84歳」が 25.1%と最も高く、75歳以上の高齢者が全体の 79.0%を占めている。平均年齢は 81.1 歳であり、調査を重ねるごとに高くなっている。

(2) 住宅の状況(単数回答)

結果のポイント

約6割(60.5%)が「持ち家」であると回答、次いで「民間賃貸住宅」(18.3%)と「都営、市営、URなどの団地」(18.0%)がそれぞれ約2割。

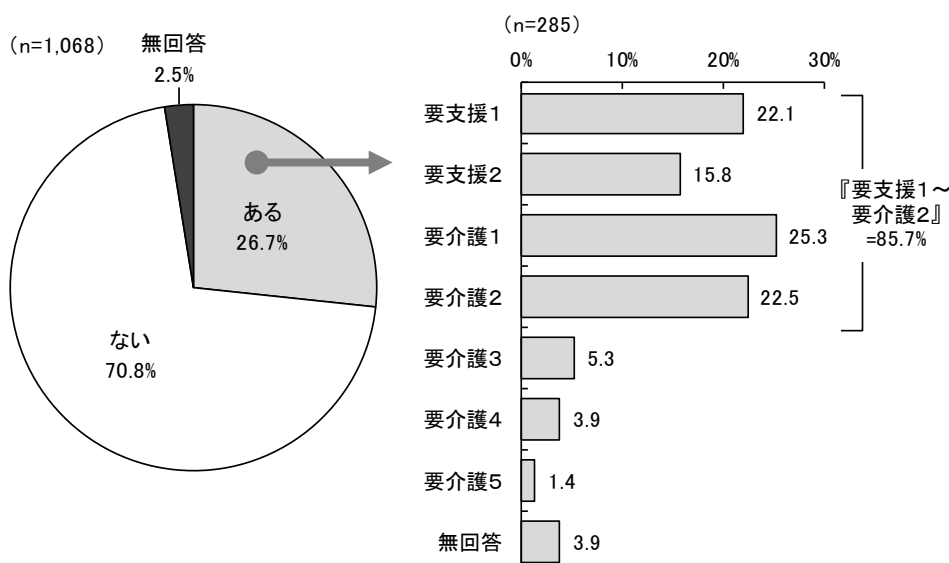


住宅の状況は、「持ち家(一戸建て、集合住宅)」の割合が60.5%で最も高く、次いで、「民間賃貸住宅(一戸建て、集合住宅)」18.3%、「都営、市営、URなどの団地」18.0%の順で続いている。

(3) 要介護(要支援)認定の有無と要介護度(各単数回答)

結果のポイント

約7割(70.8%)は、要介護(要支援)認定が「ない」と回答。要介護(要支援)認定を受けたことが「ある」約3割(285人)のうち、8割以上(85.7%)が要支援1から要介護2である。



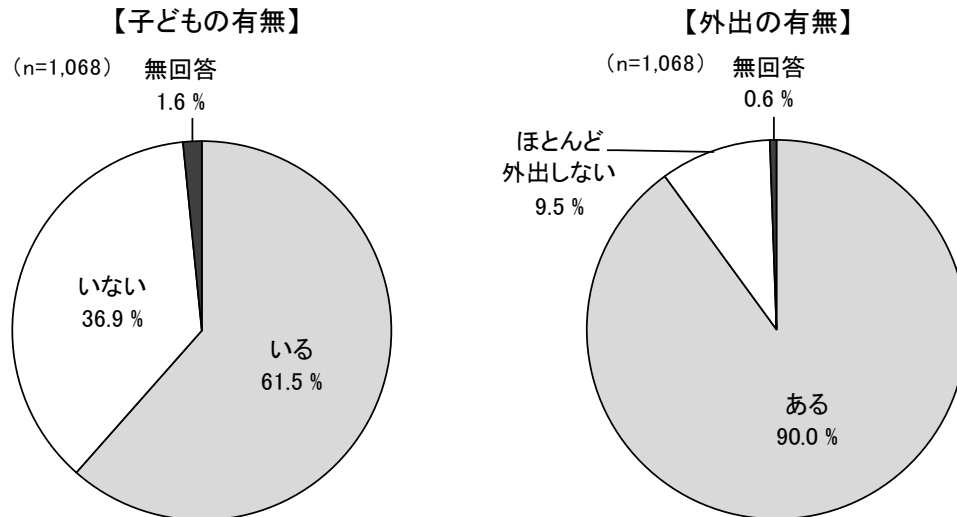
要介護(要支援)認定を受けたことがない人は、全体の約7割を占めている。

要介護(要支援)認定を受けたことが「ある」と答えた約3割(285人)のうち、『要支援1～要介護2』が85.7%で、8割以上を占めている。

(4) 子どもの有無と外出機会の有無(各単数回答)

結果のポイント

6割以上(61.5%)が、子どもが「いる」と回答。
9割(90.0%)が、週1回以上外出の機会が「ある」と回答。



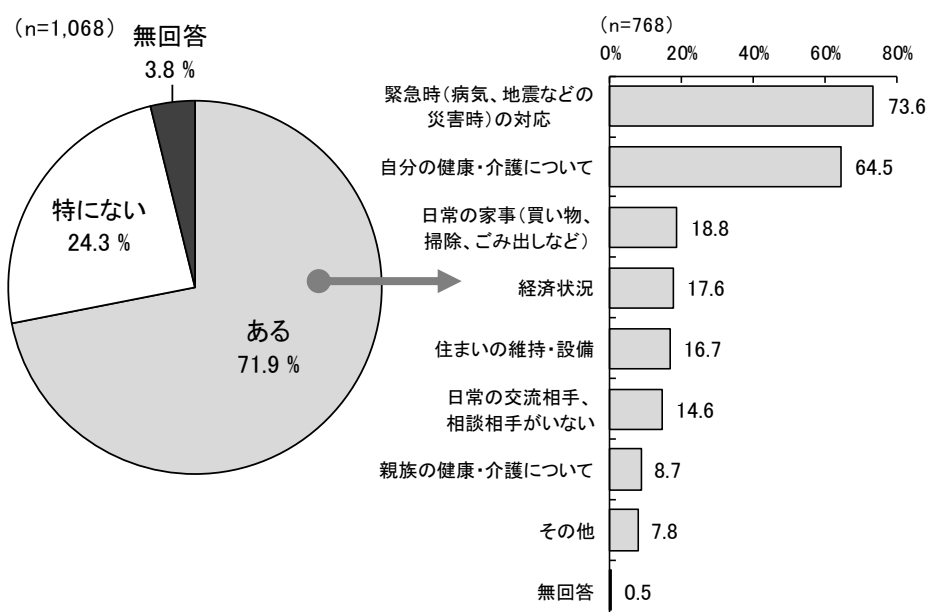
子どもが「いる」と回答した人は、61.5%で全体の6割以上を占めている。

外出機会の有無は、「ある」が全体の90.0%を占めている。「ほとんど外出しない」は9.5%である。

(5) 心配ごと・困っていることの有無(単数回答)とその内容(複数回答)

結果のポイント

約7割(71.9%)が心配ごと・困っていることが「ある」と回答し、その内容の第1位は「緊急時の対応」、第2位は「自分の健康・介護について」。

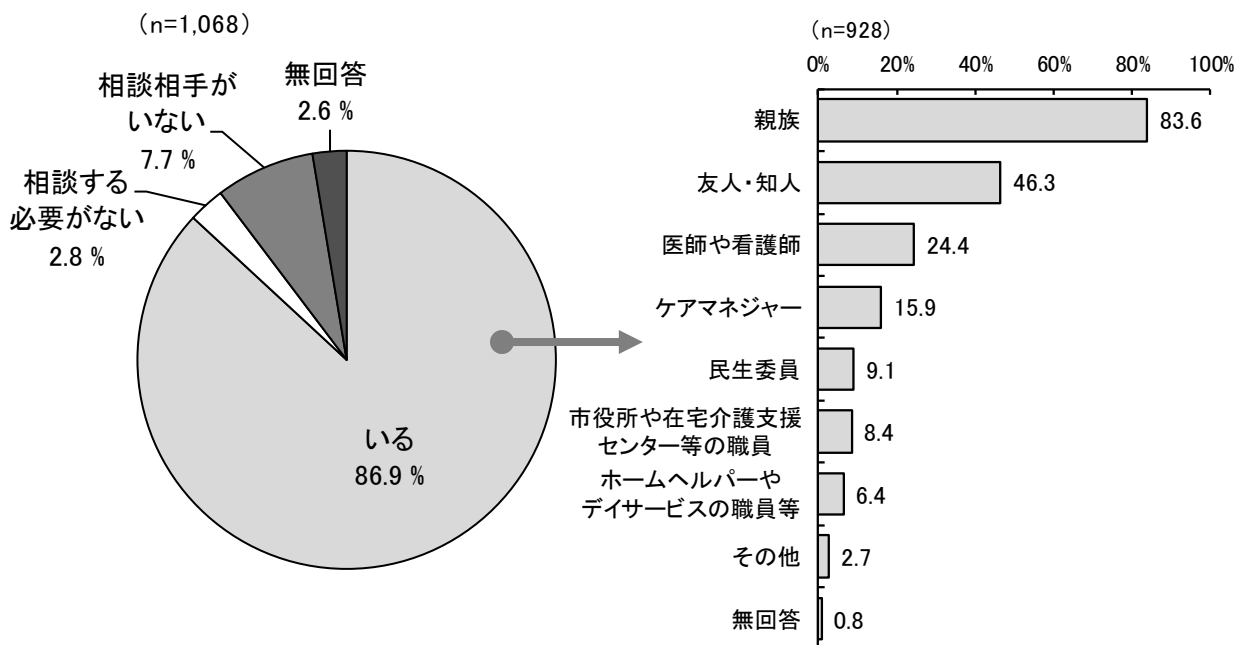


心配ごと・困っていることが「ある」と回答した人は71.9%で、その内容については「緊急時(病気、地震などの災害時)の対応」が73.6%で最も高い。次いで、「自分の健康・介護について」が64.5%、「日常の家事(買い物、掃除、ごみ出しなど)」が18.8%と続いている。

(6) 心配ごとなどの相談相手の有無(単数回答)とその相手(複数回答)

結果のポイント

約9割(86.9%)が心配ごとなどの相談相手が「いる」と回答し、その相談相手の第1位は「親族」、第2位は「友人・知人」。



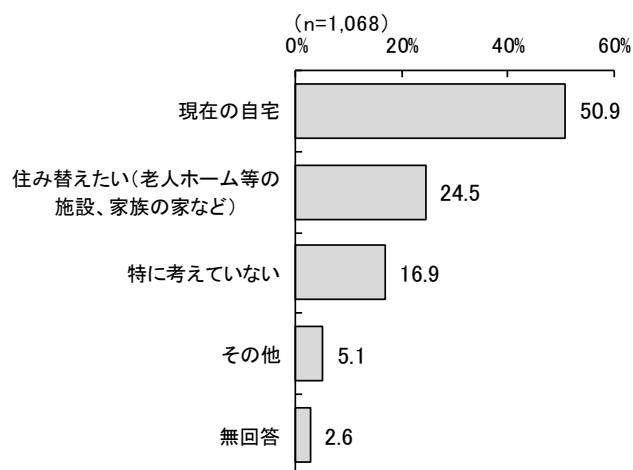
心配ごとなどの相談相手の有無については、「いる」と回答した割合が 86.9%と最も高く、「相談する必要がある」は 2.8%、「相談相手がいない」は 7.7%と低いことから、独居ではあるが周囲に相談相手がいる方が多いという結果が出ている。

心配ごとなどの相談相手は、「親族」が 83.6%で最も高く、次いで、「友人・知人」46.3%、「医師や看護師」が 24.4%となっている。

(7) 介護が必要となった時の住まい(単数回答)

結果のポイント

介護が必要となった時の住まいの希望は、約半数が「現在の自宅」。



介護が必要となった時の住まいの希望については、「現在の自宅」が 50.9%で最も高い。次いで、「住み替えたい(老人ホーム等の施設、家族の家など)」が 24.5%であり、「特に考えていない」も 16.9%となっている。

【介護が必要となった時の住まい】

			合計	現在の自宅	住み替えたい（老人ホーム等の施設、家族の家など）	特に考えていない	その他	無回答
全 体		人	1,068	544	262	180	54	28
		%	100.0	50.9	24.5	16.9	5.1	2.6
住宅の状況別	持ち家（一戸建て、集合住宅）	人	646	391	147	72	27	9
		%	100.0	60.5	22.8	11.1	4.2	1.4
	民間賃貸住宅（一戸建て、集合住宅）	人	195	49	67	66	5	8
		%	100.0	25.1	34.4	33.8	2.6	4.1
	都営、市営、URなどの団地	人	192	91	37	38	18	8
		%	100.0	47.4	19.3	19.8	9.4	4.2
	その他	人	18	6	5	4	2	1
		%	100.0	33.3	27.8	22.2	11.1	5.6

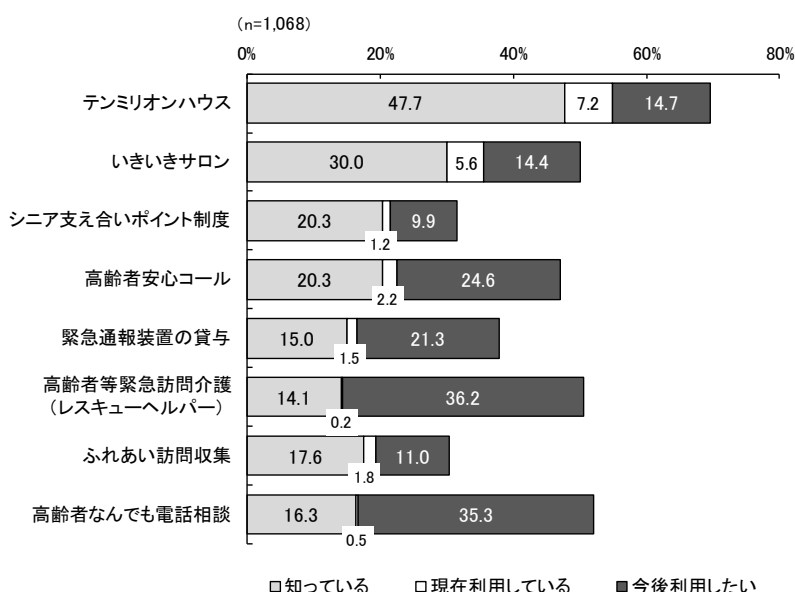
※網掛けは、上位1位の選択肢

住宅の状況別をみると、持ち家（一戸建て、集合住宅）は、「現在の自宅」と回答した割合が全体より高く、民間賃貸住宅（一戸建て、集合住宅）では、「住み替えたい（老人ホーム等の施設、家族の家など）」「特に考えていない」と回答した割合が全体より高くなっている。

（8）市の実施事業の認知度、利用度、今後の利用意向について（複数回答）

結果のポイント

「テンミリオンハウス」が認知度（47.7%）、利用度（7.2%）とも第1位。今後の利用意向の第1位は、「高齢者等緊急訪問介護（レスキューヘルパー）」で36.2%。



市の実施事業について、「知っている」割合をみると、テンミリオンハウスが最も高く 47.7%である。

「現在利用している」割合では、テンミリオンハウスが 7.2%と他の事業より高くなっている。

「今後利用したい」割合については、高齢者等緊急訪問介護（レスキューヘルパー）が最も高く 36.2%である。